

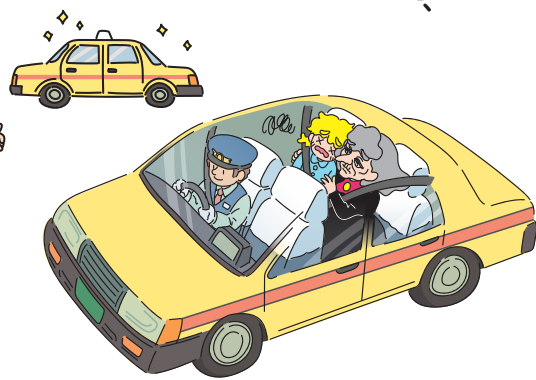
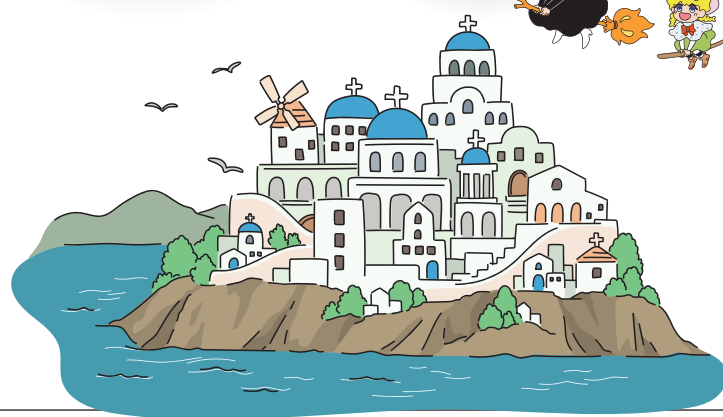


わたしはリョウ、まじょまじょよ！
みんなは、タクシーって乗ったことある？
このあいだね、わたしが夜中に熱を出したとき、
おおばーばがあわてふたれめいちゃって、
いろいろ病院を探してくれたのよ。
いつもだったら、
ほろきでひととび、なんだけど
わたしの具合が良くないからって、
タクシーを手配してくれたの。
きれいな座席に、制服を着た運転手。
安全運転で夜間病院に運んでもらったのよ。

おかげさまで、翌朝にはもうすっかり
良くなったんだけど、そのときに乗った
タクシーの思い出がずーっと残っちゃってね、
「ばーば、タクシー乗ろうよー」
って言ったんだけど、タクシーって、
そうやって乗りたくて乗るものでは
ないみたい。
たしかに、電車やバスもあるし、
なんてったってわたしたちには
空飛ぶほろきがあるものね。
そんなわたしの悲しそうな顔を見て、
「タクシーはタクシーでも、
少々かわいらしいタクシーはいかが？
わたくしも乗ってみたいのですよ」
とおおばーば。
もう、ばーばだったらなんてやさしい人なの！
でも、「かわいらしいタクシー」って、何かしら、
まあいいわ、ばーば、
さっそく行っちゃいませよー！

「何を言ってるの？ リョウちゃん、
わたしたちが乗るのは、その動物ですよ」
サントリーニ島では、急な坂道や階段を
移動するのに、ロバが大活躍だそうよ。
「ロバタクシー」と呼ばれたりもするんだって。
わたしたちも、乗せてもらいませよー！

ロバの背中、なんだか「やわらかめの岩」
みたいな感触で、ちよっぴり不思議な感じ。
ロバさんもしんどいでしようから、
魔法の力で少し浮いて、重くならないように
してあげよう。
じゃあロバさん、階段の上までお願いね！
視線も少し高くなって、島を取り囲む
エーゲ海のきれいな景色をしっかりと
楽しむことができるわね。

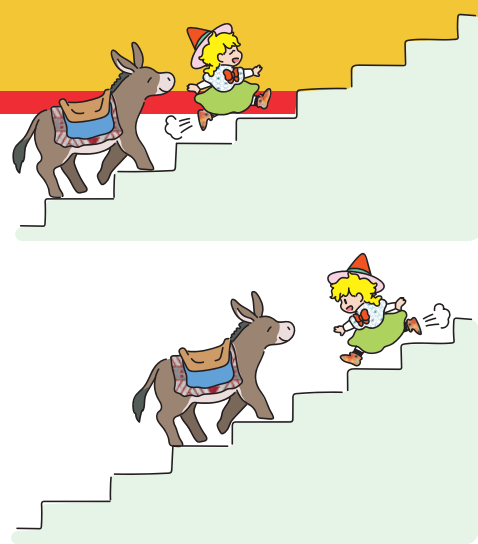


「人だけじゃなく、荷物運びとかも
やってくれる、大活躍のロバさんなのです」
そうね、おかげさまで素敵な景色も
味わえたし。はい、これは
わたしからのごほうびよ！
ロバさんにリンゴをあげると、
まあ、目を細めてバクッと一口で
食べちゃったわ！



★★★★★
Q おおばーばの問題

リョウちゃんとロバさんが坂道の階段をのぼります。同時に出発したのですが、ロバさんが坂の上に到着するまでに、リョウちゃんは坂を2往復半して、しかも同時に坂の上に到着したそうです。道中、まず1回すれ違い、次にリョウちゃんはロバさんを後ろから追い越しますが、その間にロバさんはぴったり50段の階段をのぼったそうです。
では問題です。この階段は全部で何段あるのでしょうか。ただし、リョウちゃんもロバさんも、階段をのぼるスピードは(リョウちゃんの方が速いですが)一定で、階段を下りるスピードも一定とします。また、リョウちゃんは階段をのぼりきったり下りきったりしたら、すぐに方向を変えて進み続けるものとします。

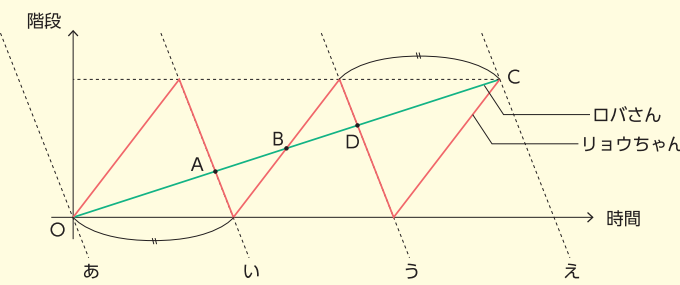


ばーばもとっても
満足してるみたい。
あれ？
ばーば、ロバさんに
またがったまま
うっとりしちゃダメ！
もう、
ばーばったら
ロバタクシーに
乗りながら、
算数の魔法を
発動させちゃったみたい。
せっかくだから、
みんなも考えてみてね！



A 問題の解答

ダイアグラムを書くのが見やすいでしょう。リョウちゃんとロバさんの進み方を図で表すと右の図のように印のついた2つの長さが等しいことから、BはOとCのちょうど真ん中に位置する点とわかります。また、O、Cを通り、い、うと平行な線あ、えをひくと、これらは等間かくなので、O、A、D、Cも等間かくに並ぶとわかります。
よって、A、B間の長さはO、C間の長さの6分の1で、その間が階段50段分なので、階段の段数は全部で50×6=300(段)です。



じんぶつしょうかい
人物紹介



リョウちゃん



おおばーば
(本名はセツコ)

未熟な魔女「まじょまじょ」を卒業するために日々奮闘中の、どこかおっちょこちょいな魔女。最近、すこすいろいろな魔法が使えるように。目の前のものをかわいいうへびに変えるのが特技。

手厳しさもあるおおらかでやさしいところもある、なぜかリョウちゃんと気の合う「偉い魔女」。保護者役も兼ねる。